

県立広島大学教員活動情報

所属学部等	生命環境学部	環境科学科	専攻	生命システム科学専攻
職氏名	准教授	西本 潤		
専門分野	分析化学	溶液化学	錯体化学	抽出分離

1. 教育活動 (平成19年度)

(1)担当科目(学部)	分析化学	環境分析化学	化学実験	分析化学実験
(大学院)	無機分析化学	生命システム科学特論		
(2)教育関係特記事項				

2. 研究活動 (平成17～19年度)

(1)論文等	Toluene/ter-Butanol Mixed Solvent for the Selective Extraction of Cr(VI) from Divalent Heavy Metals, Sethsiri S. Samaratunga, Jun Nishimoto, and Masaaki Tabata, Anal. Sci., 21, 1073-1078 (2005).	平成17年9月
	Distribution of Heavy Metals in Interstitial Waters and Sediments at Different Sites in Ariake Bay, Japan, Masaaki Tabata, Abdul Ghaffar, Yui Eto, Jun Nishimoto, and Koichi Yamamoto, E-Water, (5) 1-24 (2007).	平成19年6月
	Separation of Cr(VI) from Cr(III) in CaCl ₂ Aqueous Salt Medium using Hydrocarbon (as Toluene, n-Hexane, n-Heptane or n-Octane) Mixed Solvents of ter-Butanol, Sethsiri S. Samaratunga, Jun Nishimoto and Masaaki Tabata, Hydrometallurgy, 89, 207-216 (2007).	平成19年12月
	Extraction of Chromium(VI) by Salting-out with a Homogeneous, Mixed Solvent of Water and 2-Propanol: A Laboratory Study, Sethsiri S. Samaratunga; Jun Nishimoto; and Masaaki Tabata, Environ. Sci. Pollut. Res., 15, 27-30 (2008).	平成20年1月
(2)著書		
(3)学会発表等	陽イオン性オクタブロモボルフィリンを用いたイオン性液体へのリチウムイオンとマグネシウムイオンの抽出, 西本潤, 安本晴美, 下村拓也, 富田佳子, 田端正明, 日本分析化学会第54年会(2005)	平成17年9月
	有明海湾奥部における底質分布特性に関する基礎的研究, 笠置尚史, 大串浩一郎, 西本潤, 平川隆一, 山本浩一, 速水祐一, 平成17年度土木学会西部支部研究発表会(2006)	平成18年3月
	有明海底泥の深度別重金属濃縮環境の変化, 田端正明, 衛藤勇男, 西本潤, 日本分析化学会第55年会(2006)	平成18年9月
	オクタブロモボルフィリンを用いるリチウムイオンのイオン性液体への抽出, 下村拓也, 西本潤, 田端正明, 日本分析化学会第55年会(2006)	平成18年9月
	ボルフィリンのハロゲン化水素塩の酸塩基反応速度に対するジメチルスルホキシドの効果, 西本潤, 2007年日本化学会西日本大会(2007)	平成19年10月
	有明海沿岸と川岸の泥へ吸着した重金属の濃度分布, 西本潤, 有馬啓, 田端正明, 第88日本化学会春季年会(2008)	平成20年3月
(4)工業所有権等		
(5)外部資金採択状況	科学研究費補助金(代表)	件
	科学研究費補助金(分担)	件
	その他外部資金	件
(6)研究関係特記事項		

3. 地域貢献活動 (平成19年度)

(1)審議会等委員	日本化学会中国四国支部	H19.11～H20.3
(2)公開講座等	高大連携公開講座	「分離分析法の開発と有明海を分析してみよう」8月20日
(3)地域貢献特記事項		

4. 大学運営活動 (平成19年度)

(1)学内委員等	学生支援部門委員	キャリアセンター委員会委員
	劇物・毒物管理委員会委員長	廃液処理委員会委員長
	生命システム科学専攻ワーキング	
(2)大学運営特記事項		

以上は、主要な活動について掲載しています。